

# ■HO-K05改5 IH対応ホーロー製ケトル ～ 共通取扱説明書 ～

更新日:18.09.07

## △ お手入れ方法

- ご使用前に
  - 製造上、内面は細かい汚れが付着している事があります。最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、すすいでください。
  - 本体にシール等が貼ってある場合には、はがしてから使用してください。
- ご使用後は
  - ご使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、水気を拭き取り乾燥させてください。お手入れが不十分ですと白い汚れが付着してきますが、水道水中の微量成分が残留したものです。人体に入っても問題ありません。
  - スチールたわし、磨き粉等を使用しないでください。表面を傷付け、ヒビ割れやはがれの原因になります。
  - サビが発生した場合は、できるだけ早めにスポンジ等で洗い落としから水気を拭き取り乾燥させてください。
  - 食器洗浄機や食器乾燥機には使用しないでください。

## △ サビの発生について

- 製品本体は鉄板を加工し、その表面にホーロー加工が施されています。ホーローの特性上、鉄板の端部にはホーロー塗層がかりにくいため、サビが発生しやすくなっています。
- ホーローのヒビ割れやはがれもサビ発生の原因になります。
- サビが発生しても、鉄サビは人体に有害なものではありません。
- サビが発生した場合は、できるだけ早めにスポンジ等で洗い落としから水気を拭き取り乾燥させてください。

## △ 取っ手・つまみが《木製》の製品の場合

- ご使用状況により、ヒビや割れが生じる場合があります。割れが広がってきた場合は危険ですので使用しないでください。
- お手入れの際、取っ手、つまみになるべく水分が入らないように注意してください。

## △ 《リング巻》の製品の場合

- 製品端部を衝撃等から保護するために、ステンスリングを巻いています。
- つけ置き洗いはしないでください。リング内部に水が入り、サビ発生の原因になります。
- ご使用後は特にリング巻部分は柔らかな布等で水気を拭き取り乾燥させてから収納保管してください。



△ 適正水位以内で使用してください。

イラストは一般的なものであり、実際のケトルの形状とは異なります。

※適正水位は目安です。火力により吹きこぼれる場合がありますので、火力を小さくするか内容量を少なくして吹きこぼれないように使用してください。

商品のお問い合わせに  
対応させて頂くため、ここに  
ラベル又は品質表示を  
貼ってください。

※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更する事があります。

HO-K05改5

## 100-200V熱源対応 ホーロー製ケトル

## 共通 取扱説明書

この度は、お買い求め頂きまして誠にありがとうございます。この商品は家庭で調理するために使うものです。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。お読みになった後は、必ず保管してください。

この取扱説明書は本体に付属のラベル又は、品質表示と一緒に必ず保管してください。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

和平フレイズ株式会社

〒959-1292 新潟県燕市物流センター2丁目16番地  
0256-66-8511 [アフターサービス係]  
http://www.wahei.co.jp

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~18:00 (土日・祝日は除く)

Q&Aはこちら



※ご使用前に必ず各部に異常がないか事前に確認してください。  
※イラストは一般的なものであり、実際のケトルの形状とは異なります。

- △注意 空炊きをしないでください。
- △注意 湯沸かし中は場所を離れないでください。火災の原因になります。
- △注意 ご使用のコンロ・ヒーターの取扱説明書にそって正しく使用してください。

## △ 取扱上の注意

- 湯沸かし中や直後は本体、取っ手、つまみが熱くなっています。必ずミトン等を用いてヤケドに注意してください。ヤケドの危険がありますので、特にお子様の手に触れないように注意してください。
- 炎が底面からはみ出さないように使用してください。取っ手が焦げて危険です。異臭も発生します。又、隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないように向きを調整してください。
- 火にかける時は取っ手を立てて使用してください。倒して使用すると過熱してヤケドの危険があります。又、取っ手が破損して事故の原因になります。
- ケトルはコンロの中央部に載せて安定させて使用してください。
- 取っ手やつまみがゆるんだ状態で使用しないでください。脱落してヤケドの危険があります。つまみがネジ止めの場合、ネジを締め直してから使用してください。
- 取っ手やつまみのガタツキや破損に対し、改造や応急処置等の手当てをして使用する事は危険ですのでやめてください。
- 縁まで水等を満たした状態で使用しないでください。
- 吹きこぼれ防止のため、適正水位以内で使用してください。
- 沸騰したら、必ず火を止めてください。

- 絶対に空炊きをしないでください。空炊きは火災や本体の変形、取っ手やつまみの破損やヤケド、ホーローのヒビ割れやはがれの原因になります。万一空炊きをしてしまった場合は、水等をかけずに自然に冷めるのを待ってください。
- 空炊きをした場合に、水等をかけて急冷しないでください。急冷するとホーローはガラス質ですので、ヒビ割れやはがれ、変形の原因になります。
- 蓋を取ったままの状態で使用しないでください。取っ手の過熱によりヤケドや脱落の危険があります。
- ストーブの上では危険ですので使用しないでください。
- 茶葉・薬草等の煮出しや、酒類で使用する場合は、成分によっては内面に色が付く場合があります。
- 湯沸かし直後に注ぐと熱湯が飛び出る場合があります。ヤケドの危険があります。20秒以上待ってから注いでください。
- お湯を注ぐ時、急な角度で注がないでください。本体と蓋の間からお湯があふれたり、蓋が外れてヤケドの危険があります。注ぎ口部分からお湯が尻まわりする事があります。
- ぶついたり、高い所から落とす等、強い衝撃を与えないでください。ホーローはガラス質ですので、ヒビ割れやはがれ、破損や変形の原因になります。
- 表面は空炊き以外でも高温にさらされると変色やヒビ割れする場合があります。特に極少量の水を入れて沸騰させると、水が入っていない部分が高温になり変色やヒビ割れの原因になります。水量と火力には十分注意してください。
- 効率良く加熱して頂くために、ケトルの底に付いた水滴、異物や汚れ等はきれいに拭き取ってください。

■下記対応熱源で使用してください。



## △ IHクッキングヒーターでご使用の際の注意

※IHクッキングヒーターでのご使用は、必ず中火以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因になります。※IHクッキングヒーターのプレート表面にケトルの跡が付く場合があります。専用クリーナー等で取り除いてください。

- 絶対に空炊きをしないでください。空炊きは高温になるため、ホーローが器具に付着し破損の原因になります。
- IHクッキングヒーターでのご使用は、必ず火力(出力)を「中」以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損、ホーローのヒビ割れやはがれの原因になります。
- 変形やガタツキ等が生じた場合は使用しないでください。
- ケトルはヒーターの中央に置いてください。加熱中に「ブーン」といった音が生じる場合がありますが、IHクッキングヒーターとケトルの振動の波動が共鳴するために生じるもので、ケトルの異常ではありません。

※一般家庭用の200V熱源に使用できますが、食堂、レストラン等の業務用熱源で高出力タイプの場合は、変形の可能性がありますので、使用しないでください。

ガス火でも使用できます。

## 温度センサー付ガスコンロでの注意

コンロの中央部に載せて温度センサーが確実に沈み込んだ事を確認してください。

×印は「オーバープリント」にしてください。